

「大きくなってね」

中里小3年がヤマメの稚魚放流

中里小学校3年生が、6月21日(金)に滝ノ沢砂防愛ランドの砂防ダム魚道付近でヤマメの稚魚約5,000匹を放流しました。初めに、県職員から砂防ダムの役割などを学習したあと、バケツに入った稚魚を一斉に放流しました。成田絆さんは「初めて砂防ダムに来た。ヤマメが元気に大きくなって欲しい」とヤマメの成長を願いました。

この事業は、「子供達と共に夢を創る会」(代表・白川勝則)が主催で、青森県県土整備部河川砂防課や西北地域県民局地域整備部、そして中泊町の協力で行われています。



経済波及効果は4億円の試算

中泊メバル膳が7万食達成

中泊町のご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮付け膳(通称、中泊メバル膳)」が、7月1日(月)に7万食を突破しました。記念すべき7万食目となった竹浦寿子さん(十和田市)は「以前家族で食べたメバル膳。こうして7万食目になるとは思わなかったので本当に嬉しい」と驚きと喜びの胸中を話しました。

中泊メバル膳は、2015年7月3日にデビューし、今年で4周年を迎えました。2019年4月1日にはメニューをリニューアルし、内容がパワーアップしています。



災害時、県境を越えた応援協定

五所川原地区消防と大館市が協定

五所川原地区消防事務組合(管理者・佐々木孝昌五所川原市長)と秋田県大館市が、消防相互応援協定を締結し、7月2日(火)に同組合消防本部で締結式が行われました。

2016年12月に新潟県糸魚川で発生した大規模災害をきっかけとした、総務省消防庁からの応援体制見直しの通知を受けて、大館市が申し入れし、それを受けて協定締結に至りました。相互応援協定によって、有事の際の消防体制が強化される運びとなりました。

「消防相互応援協定」締結

五所川原地区消防事務組合 秋田県大館市



イメージアップ大使がふるさとに叫ぶ

三上 寛が中泊町でライブ

中泊町イメージアップ大使の三上寛さんが、7月5日(金)に駅ナカにぎわい空間でライブを開催し、満席の会場を大いに沸かせました。「三上寛 ふるさとに叫ぶ」と題したこのライブは、8回目を迎えました。

今回のライブは2部構成で、第1部でギタリストの鎌田幸男さんの演奏、加藤則子さんの歌で会場を盛り上げました。続く第2部では、三上寛さんが登場し、歌って叫ぶのでの圧巻のステージで、満員の観客を楽しませていました。



明るい、犯罪のない社会のために

社会を明るくする運動メッセージ伝達式

69回目となる「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる全国的な運動です。7月9日(火)には、中泊町の保護司と更生保護女性ら26人が参加し、メッセージ伝達式を役場前で行いました。保護司会副会長の山田泰仙さんは法務大臣から、更生保護女性会会長の古川節子さんは青森県知事からの協力依頼のメッセージを読み上げ、中泊町へ協力を要請しました。一行は、町内パレードで事務所などを訪れ、運動の啓発活動を行いました。



薄市小から6人が参加

活ハマクラブ、メバル網外し体験ツアー

メバル漁師や漁協職員などの若手を中心のまちづくり団体「中泊活ハマクラブ」が、今年もメバルの網外し体験ツアーを開催しました。7月13日(土)には、薄市小学校6年生の有志6人が参加しました。一行は、荷捌き場と製氷庫を見学し、メバルの刺身や潮汁を試食しました。最後の網外し体験では、漁師からコツを教わりながらメバルを網から外しました。中泊活ハマクラブ会長の宮下一也さんは「子どもたちが楽しんでいるようで良かった。漁師の仕事を知るきっかけになって欲しい」と期待を込めました。今回参加の薄市小学校6年生6人は、修学旅行のPR練習をきっかけにこのツアーを知り、友人と一緒に応募したそうです。

下前・折戸地区の買い物支援の実証実験

ピュア移動販売車が訪れる

集落支援員が配置されている下前・折戸地区に買い物支援策として、ピュアの移動販売車が実証実験として販売を行いました。集落支援員の調べで、下前・折戸地区ともに買い物に不便を感じる人が多いことがわかり、試験的に移動販売を行うことになりました。この日は合計4か所で実施し、約70人が訪れ、買い物をしました。利用した永坂きくえさんは「普段からピュアに行くが、移動販売車が来てくれるのは助かる」と利便性に満足したようでした。また一緒に買い物に来た永坂はなえさんは「自分で品物を見て選べる場所がいい」と太鼓判を押しました。移動販売実証実験は7月29日(月)にも行われました。



18の職業講話から学ぶ

中里高校で「夢に向かうための職業講話」

将 来の仕事への理解を深めるきっかけにと、7月18日(木)に中里高校で「夢に向かうための職業講話」が開かれ、18の業種から実際に働く人を講師に迎えました。生徒たちは、事前に選択した2つの職業に関する話を聞いて、理解を深めました。講師として参加した人の中には、中泊町出身者もいました。この職業講話は毎年開催され、昨年から中学校にも参加を呼びかけ、今年は町内から中里中学校と小泊中学校の生徒が、つがる市から車力中学校と稲垣中学校の生徒が参加しました。

令和元年度 町民運動会



毎年恒例の町民運動会が、6月30日(日)に運動公園陸上競技場で開催され、今年は連合チームを含む14地区がエントリーしました。健康ダンスでおなじみ「べえ子ちゃん」が新曲のダンスを披露し、また新たな競技2種目が組まれるなど、“令和”1回目の運動会は大盛況でした。結果は次の通りです。

■優勝…芦野地区

■準優勝…下高根地区

■第3位…下豊岡地区

